障害者支援施設　つよし寮

施設入所支援、生活介護、短期入所

つよし寮らしいSDGsってなんだ？

つよし寮では、自然と共存し、手作りを大切にしていて、持続可能な生活を続けているということは、なんとなくは認識しているのですが、あらためてSDGsといわれるとピンとこないところがありました。そこで、今回のテーマ「SDGs」を書くにあたって、職員がSDGsを学ぶところからはじめました。寮長が先生となり学んだあとに、つよし寮らしいSDGsの目標は何だろうとアンケートを取りました。その結果、目標12　つくる責任つかう責任“生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう”が選ばれました。

今回は、アンケートのコメントをもとに記事を作成しました。

12 つくる責任 つかう責任

目標12　つくる責任つかう責任

“生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう”

水の恵みを大切にしている

つよし寮は「水」と共存しています。水を使う責任は、つよし寮を取り巻く環境を壊さないように必要以上の水を摂らずに、より一層、自然が自然らしく生きていけるようにつよし寮として取り組んでいきます。

水は自然の山水

炭つくりは環境を守るうえで大切なことであると思っています

炭を作った時にでる木酢液を畑などに活用しています。

窯の中はこんな感じ♪

自分たちでつくり、自分たちでたべおえる

野菜をつくり、寮で調理して食べています。
食材の切屑、食べ残しなど堆肥として利用。畑へ。

みんなで協力して茶摘み中

普段飲んでいるお茶や紅茶は、つよし寮で栽培され使われています。でるゴミはお茶葉だけだと思います。（生ゴミと一緒に土に埋められています。）野菜は畑で作られています。（このゴミも山の土に返っています。）

たくさん収穫できました！

たけのこ、わらびなど、季節の山菜などを保存食にしています。

躍動感がスゴい☆

もち米を作り、12月にもちつきをして皆でいただきました。
皆で食べれる量のもち米を作っています。

食事で使う食器はつよし寮で作成した陶器で作られています。
なるべくプラスチックを使わないようにしています。